

各位

会社名	ヒビノ株式会社
代表者名	代表取締役社長 日比野 晃久 (コード番号 2469 東証スタンダード市場)
問い合わせ先	執行役員ヒビノ GMC 経営企画グループ担当 大関 靖 (TEL : 03-3740-4391)

ソノーラテクノロジー株式会社の株式の取得（連結子会社化）に関するお知らせ

当社は、2026年4月28日開催の取締役会において、無響室・防音室メーカーであるソノーラテクノロジー株式会社（以下、「ソノーラテクノロジー社」という。）の株式を取得し、連結子会社化することについて決議し、同日付で同株主との間で株式譲渡契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

(1) 当社グループについて

当社グループは、「音と映像で、世界に感動をクリエイトする」をパーパスに掲げ、音響と映像を中心とした製品・商品・サービスの提供を行っています。建築音響施工事業では、音楽・放送・制作スタジオをはじめ、試写・視聴室、ホール、音響実験室など、高い音響性能や遮音・防振性能が求められる音空間の設計・施工を行っています。音・音響に関するコア技術を基盤に、製造業等の音に関する研究開発支援や、航空機・鉄道・道路、工場・事業場に係る騒音対策にも取り組み、社会や産業における音の課題に対応しています。当社グループは、日本の建築音響分野を牽引する企業グループとして、高い専門性と豊富な実績をもとに、お客様から厚い信頼を得ています。

近年は、設備投資の活発化、都市再開発の進展、快適な音環境づくりに対する社会的関心の高まりを背景に、建築音響、音響 R&D ソリューション及び騒音対策の各分野において需要が拡大しています。こうした成長機会を確実に取り込むためには、高度な技術力を要する案件への対応力を維持・強化しつつ、顧客ニーズに応じて提案の幅を広げていくことが重要であると認識しています。

(2) ソノーラテクノロジー社について

ソノーラテクノロジー社は、製造業等における音響計測・評価・開発に用いられる無響室、無響箱、防音検査室と、産業騒音対策のために用いられる防音室、防音カバー、防音壁の設計・施工を行う音響・防音分野のメーカーです。主力製品である組立式無響室、無響箱等において国内トップクラスの実績を有し、自動車、電気機器、機械、精密機器等の製造業から学校、官公庁に至るまで、幅広く納入しています。同社の強みは、個別ニーズへの対応を積み重ねながら製品開発を進め、モジュール化につなげてきた点にあります。これらの組立式製品は、短納期、短工期、分解・移設への対応といっ

た特長を備え、価格競争力にも優れています。規格製品にとどまらず受注生産にも対応しているため、顧客の要求性能や設置環境に応じた柔軟な提案が可能です。また、日本メーカーの海外生産拠点向けを中心に、製品輸出や現地工事会社と連携した導入実績も有しています。

(3) 事業におけるシナジーについて

ソノーラテクノロジー社が当社グループに加わることによるシナジーは、大きく3点あります。

① 音響 R&D ソリューション分野における一体提案の強化

当社グループが提供する築造式の音響実験室に、ソノーラテクノロジー社の組立式が加わることで、要求性能、設置環境、予算及び納期に応じた提案の幅が広がり、案件獲得力が高まります。これにより、当社グループが得意とする音響計測・評価・開発支援サービスを起点とした、実験室の設計・施工から計測システムの販売までの一体提案を強化し、音響 R&D ソリューション分野における受注拡大を図ります。

② 騒音対策分野における売上拡大及び製品開発の強化

ソノーラテクノロジー社が展開する防音室の設計・施工が加わることで、騒音対策分野における売上拡大を図ります。また、同社の製品開発力と当社グループが蓄積してきた顧客課題や技術知見を掛け合わせ、新製品開発を進めることで、製品販売の強化にもつなげます。

③ 海外展開の推進

ソノーラテクノロジー社の組立式製品の海外向け輸出・導入に加え、今後開発する新製品についても海外市場への投入を進めることで、建築音響施工事業における海外展開を推進します。

以上を踏まえ、本件は当社グループの成長戦略の推進に資するものと判断し、株式取得を決定しました。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	ソノーラテクノロジー株式会社		
(2) 所 在 地	東京都世田谷区成城二丁目 40 番 5 号 Verte-Bldg 2 階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 伸弥		
(4) 事 業 内 容	・音響実験設備・防音設備の設計・施工 ・音響製品の開発・製造・販売		
(5) 資 本 金	4,480 万円		
(6) 設 立 年 月	2003 年 8 月		
(7) 大株主及び持株比率	WM グロース 4 号投資事業有限責任組合	90.1%	
	その他個人株主 2 名	9.9%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	当社グループと当該会社との間で、営業取引があります。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決 算 期	2023 年 6 月期	2024 年 6 月期	2025 年 6 月期
純 資 産	246 百万円	313 百万円	221 百万円
総 資 産	670 百万円	821 百万円	694 百万円
1 株 当 たり 純 資 産	309,591.14 円	394,070.90 円	157.07 円
売 上 高	538 百万円	769 百万円	746 百万円
営 業 利 益	69 百万円	96 百万円	118 百万円
経 常 利 益	71 百万円	101 百万円	122 百万円
当 期 純 利 益	48 百万円	67 百万円	81 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	61,229.19 円	84,479.76 円	57.89 円
1 株 当 たり 配 当 金	－円	－円	－円

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	WM グロース 4 号投資事業有限責任組合
(2) 所 在 地	東京都千代田区麴町三丁目 2 番地
(3) 設 立 根 拠 等	投資事業有限責任組合契約に関する法律
(4) 組 成 目 的	成長 (グロース) 段階のベンチャー企業・中堅中小企業に対して投資を行うグロースキャピタルファンド
(5) 組 成 日	2017 年 11 月 9 日
(6) 出 資 総 額	106 億円
(7) 出 資 者 ・ 出 資 比 率 ・ 出 資 者 の 概 要	日本政策投資銀行、中小企業基盤整備機構、証券会社、地方銀行、事業会社であります。なお、出資比率は公表されていません。

(8) 業務執行組合員の概要	名称	WM グロース4 有限責任事業組合
	所在地	東京都千代田区麴町三丁目2番地
	代表者の役職・指名	統括組合員 WM パートナーズ株式会社 職務執行者 松本 守祥
	事業内容	プライベートエクイティファンドの管理及び運営
	資本金	該当事項はありません。
(9) 上場会社と当該ファンドとの関係	上場会社と当該ファンドとの関係	当社と当該ファンドとの間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。
	上場会社と業務執行組合員との関係	当社と業務執行組合員との間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数 0 個)	(所有割合 0.0%)
(2) 取得株式数	1,273,600 株 (議決権の数 1,273,600 個)	
(3) 取得価額	普通株式	722 百万円
	アドバイザー費用等 (概算額)	35 百万円
	合計 (概算額)	757 百万円
(4) 異動後の所有株式数	1,273,600 株 (議決権の数 1,273,600 個)	(所有割合 90.1%)

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年4月28日
(2) 契約締結日	2026年4月28日
(3) 株式譲渡実行日	2026年5月29日 (予定)

6. 今後の見通し

ソノーラテクノロジー社は、2027年3月期第1四半期より当社の連結子会社となる予定です。貸借対照表については同第1四半期より、損益計算書については同第2四半期より連結する予定です。

本件が2027年3月期の当社連結業績に与える影響につきましては、2026年5月14日に公表予定の「2026年3月期決算短信」における2027年3月期連結業績予想に織り込む予定です。

以上